

福岡いのちの電話チャリティコンサート

# 弦楽演奏の夕べ

「いのちの響き」を  
最上のキャストでお届けします



原 雅道 ヴァイオリン  
九州交響楽団コンサートマスター



大山 佳織 ヴァイオリン  
九州交響楽団ヴァイオリン首席奏者



大山 平一郎 ヴィオラ  
米国サンタバーバラ室内オーケストラ  
音楽監督権常任指揮者



原田 哲男 チェロ  
元九州交響楽団首席奏者  
現在フリー奏者として活動

## 3月10日(金)

開演 午後7時 開場 午後6時30分

全席自由 2000円

### 都久志会館ホール

福岡市中央区天神 4-8-10 電話：092-741-3335



☆ 演目 ☆

ベートーヴェン  
弦楽三重奏曲 第1番 変ホ長調 作品3

ブラームス  
弦楽四重奏曲 第3番 変ロ長調 作品67

■主催 福岡いのちの電話後援会  
■後援 福岡市

お申込みは、往復ハガキ、FAX又は、メールにてコンサート希望と書き、お名前、住所、(FAX番号)、必要枚数を明記の上、次宛てにお送りください。〒810-0073 福岡市中央区舞鶴 2-7-7 福岡いのちの電話事務局、FAX番号：092-721-4343、メールアドレス：find4343@sirius.ocn.ne.jp

お問い合わせは、福岡いのちの電話事務局へ 電話：092-713-4343



# 福岡いのちの電話 チャリティコンサート 弦楽演奏の夕べ

## 演奏者 プロフィール



原 雅道 ヴァイオリン

国立音楽大学卒業と同時に新日本フィルハーモニー交響楽団に入団。室内楽の演奏会などにも多数出演。他のプロオーケストラ及び室内合奏団のゲストコンサートマスター、ゲストトップ奏者として多数招かれている。クラシック音楽以外の活動も多く様々なジャンルのアーティストとの CD レコーディングやライブ活動、及び TV、映画音楽やコマーシャル等のスタジオワークに参加。服部克久率いる東京ポップスオーケストラメンバー。また各地の大学、市民オーケストラや後進の指導にも当たる。ヴァイオリンを諏訪晶子、徳永二男、室内楽をヘルムート・バルト、ディビット・テイラーの各氏に師事。

2007年1月より九州交響楽団アシスタントコンサートマスター。2012年4月より九州交響楽団アソシエートコンサートマスターとしてコンサートマスター、セカンドヴァイオリントップ、アシスタントコンサートマスターと三役を務めた。2016年4月から九州交響楽団コンサートマスターに就任。

大山 佳織 ヴァイオリン

大分県安岐町に生まれ、北九州市で育つ。ヴァイオリンを篠崎英育、数住岸子、太期晴子各氏に師事、東京音楽大学入学後は、篠崎功子教授に師事。室内楽を、久保陽子、佐藤瑛理子、堀了介、岩崎洗各氏に師事。毎日新聞社主催ヴァイオリン・コンクール西部大会高校部門で優勝。同年、福岡銀行本店ホールで、優勝者記念演奏会で演奏。1992年、九州交響楽団入団。同年より1998年まで、三洋信販クラシック・コンサートで弦楽四重奏団「アンサンブル・コレージュ」の第2ヴァイオリン奏者を務める。

1993年、日本演奏家連盟主催新人演奏会で、九響と共演する。1995年に、室内楽「アンサンブル MUTU」を結成。2007年まで九州各地で演奏活動。2007年と2016年に、ピアニスト石井克典氏とデュオ・リサイタルを末永文化センターで開催、好評を得る。2008年には九州交響楽団ヴァイオリン首席奏者に任命され現在に至る。九州各地での活発な室内楽演奏活動も高く評価されている。



大山 平一郎 ヴィオラ

大山平一郎は、指揮者、ヴィオリスト、室内楽奏者、そして教育者としても高く評価されている。京都生まれ。東儀祐二教授にヴァイオリンを師事。後に桐朋学園で、江藤俊哉、鷺見三郎、斎藤秀雄各教授に師事。1968年、英国に渡りギルドホール音楽学校を卒業した後、米国インディアナ大学で研鑽を積む。72年、マルボロ音楽祭に参加して以降、多くの音楽祭に参加。79年にロサンゼルス・フィルハーモニックの首席ヴィオラ奏者に任命された後、指揮の勉強を始める。86年ラホイヤ室内楽音楽祭の初代芸術監督に就任。同年、ロサンゼルス・フィルを指揮、翌年アンドレ・プレヴィンに、同楽団の副指揮者に任命される。

その後、ヨーロッパ、アメリカで多くのオーケストラと共演。日本では91年に京都市交響楽団を指揮してデビュー以降、読売日本交響楽団、新日本フィルハーモニー、札幌交響楽団など数多くのオーケストラを指揮している。1992年にはサンタフェ室内音楽祭の芸術監督に、また93年にはニューヨーク州のカユガ室内オーケストラの指揮者兼音楽監督に就任。1973年から03年までカリフォルニア大学教授、1999年から04年まで九州交響楽団の常任指揮者04年から08年まで大阪交響楽団のミュージック・アドヴァイザー・首席指揮者、07年から09年までながさき音楽祭音楽監督を歴任。現在、米国のサンタ・バーバラ室内管弦楽団音楽監督兼常任指揮者。チャンネル・ピグマリオン・デイズ室内楽シリーズのアーティストティック・ディレクター。「Music Dialogue」芸術監督。

原田 哲男 チェロ

桐朋学園大学在学中の1990年に蓼科高原音楽祭奨励賞受賞。同大学卒業後から2年間ドイツのマインツ大学音楽学部に学ぶ。1997年からは米国ダラス市の南メソヂスト大学より奨励金を得て、同大アーティストディプロマコースに入学、同年夏「チェロアンサンブルサイトウ」のメンバーとして日本、ヘルシンキ及びサンクトペテルブルグの世界チェロコンGRESに出演した。1999年から2012年9月末まで仙台フィルハーモニー管弦楽団首席チェロ奏者を務め、その間北爪道夫のチェロ協奏曲（仙台フィル委嘱作品）を初演のほか、定期公演等にソリストとしても出演した。

そのほか仙台市民交響楽団、仙台ニューフィルハーモニー管弦楽団といった地元のオーケストラとの共演、プラハ放送交響楽団宮城公演のソリストとして起用された。2001年第4回ビバホールチェロコンクール3位。仙台フィルメンバーによるセレーノ弦楽四重奏団でも活躍。「松尾音楽助成賞」受賞、また原村室内楽セミナーにおいて「緑の風音楽賞」受賞。2006、2007、2014年には秋吉台室内楽セミナーに講師として招かれた。森川諄一、木越洋、ユリウス・ベルガー、岩崎洗の各氏に師事。2007年9月より文化庁海外派遣研修員として1年間ドイツに留学。クリスティアン・ギガー氏（ライブツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団第一ソロチェリスト）に師事。2013年5月より九州交響楽団首席奏者に就任。ソリストとして、九州交響楽団、また福岡や鹿児島など地元のオーケストラと共演。2016年4月末をもって九響を退団し、現在はフリーのチェロ奏者として福岡市を拠点に、ソロ、室内楽、後進の指導など幅広く活動を展開している。



### ベートーヴェン

弦楽三重奏曲 第1番 変ホ長調 作品3  
第1楽章 アレグロ コンプリオ  
第2楽章 アンダンテ  
第3楽章 メヌエット  
第4楽章 アダージオ  
第5楽章 メヌエット モデラート  
第6楽章 フィナーレ アレグロ

ヴァイオリン 大山 佳織  
ヴィオラ 大山 平一郎  
チェロ 原田 哲男

### ブラームス

弦楽四重奏曲 第3番 変ロ長調 作品67  
第1楽章 ヴィヴァーチェ  
第2楽章 アンダンテ  
第3楽章 アジタート アレグロ ノンタント  
第4楽章 ポコアレグレット コンヴァリエシオン

第1ヴァイオリン 原 雅道  
第2ヴァイオリン 大山 佳織  
ヴィオラ 大山 平一郎  
チェロ 原田 哲男